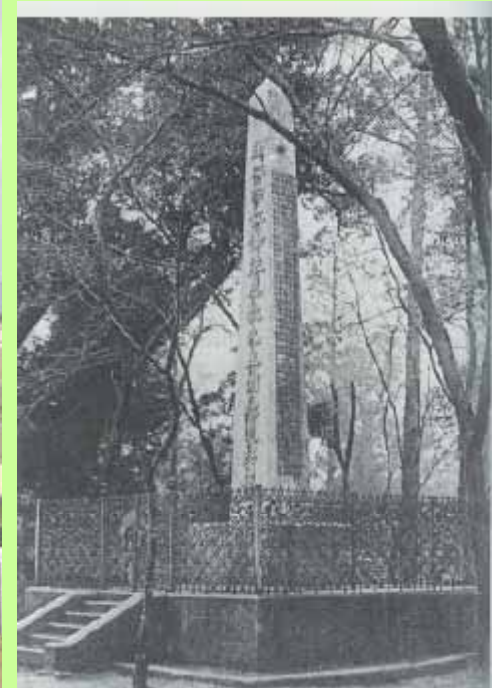


あ っ と 驚 く 弥 三 郎 ！

- 大野規周の墓 -

- 長谷川一郎さん・佐藤利男さんに御礼 -



明治20年代頃の流行？
(旧伊能忠敬測地遺功表
1889明治22年頃)

あっと驚く弥三郎！大野規周の墓

オベリスク型で大野規好が建立(大阪市北霊園)



大野規周の墓

あっと驚く弥三郎！大野規周の墓

(大阪市北霊園) 高さ1丈6尺(4.84m)日陰の長さから測定・推定

ポインタ 34° 42'50.99" N 135° 30'52.27" E 高度 5m

ストリーミング 100%

Google

上空 46m

(佐藤利男さん発見)

○叙任

○十月六日

特旨ヲ以テ位階被進叙正六位
非職元大藏三等技師從六位勳六等 大野 規周

實父規周此地ニテ病氣ノ處養生不叶去ル五日死去
葬儀ハ大坂ニテ執行ス此段同人等知諸君ニ報ス
小石川水道町卅五番地長谷川皎方

大野規好

長谷川皎 という人は元・福井藩士 「福井県文書館研究紀要第1号」

p54にある福井藩(松平春岳)繋がりの同僚か？
娘婿のような人かも？

9 長谷川皎 給禄33.244 年齢・身分小算

家督後の主な経歴 M3.1月民政寮附属、金館方算
者勤、12月民政寮勤、M4.6月改正二付免職、

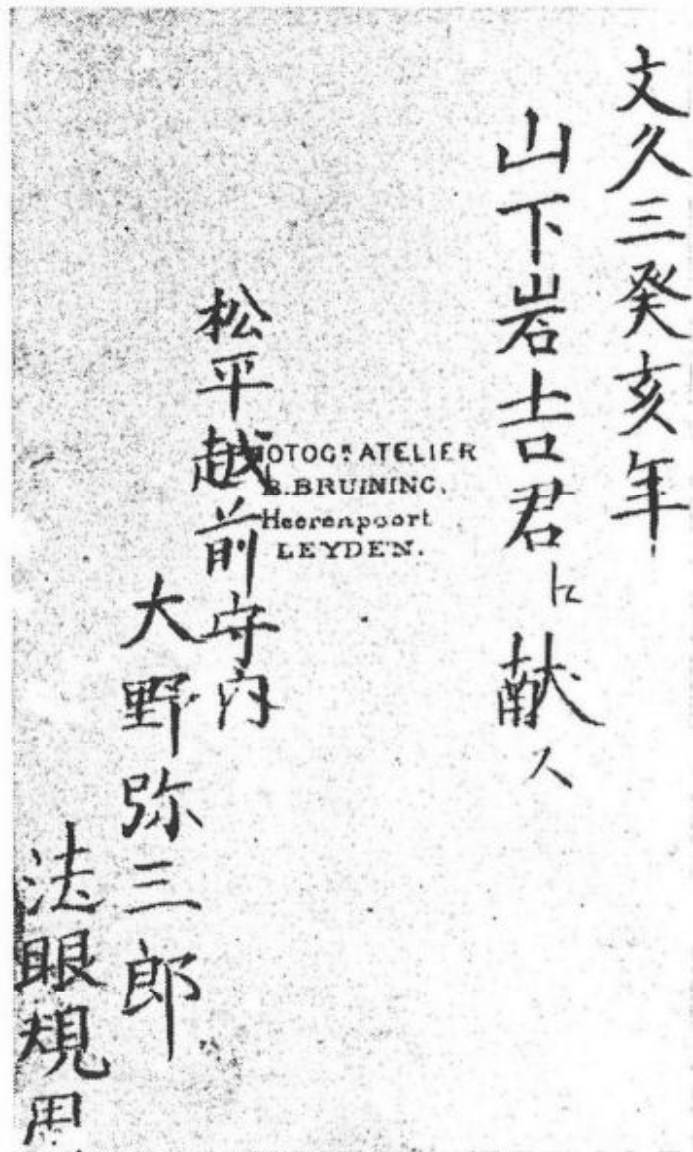
10月惣会所出納方、12月金館方、M5.1月金館方廃、
M5.7月第二区勝見下町組副戸長、9月惣会所雇

倅の規好が大坂から駆けつけた？

小石川水道町35番は文京区春日2 - 22

大野規周の死亡記事(時事新報)

(佐藤利男さん発見)



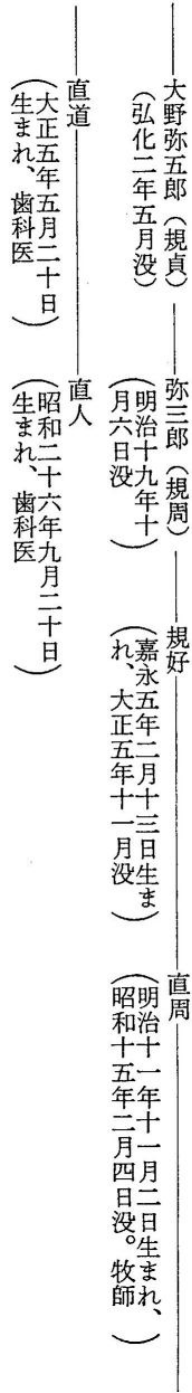
宮永孝著「幕府オランダ留学生 - 職方・大野弥三郎」による

8. 大野弥三郎の肖像と署名(三崎ユキ氏提供、宮永孝所蔵)

福井藩の松平春岳は懐中時計の愛用者

大野弥三郎規周は松平春嶽/慶永に仕えてから訪欧した。

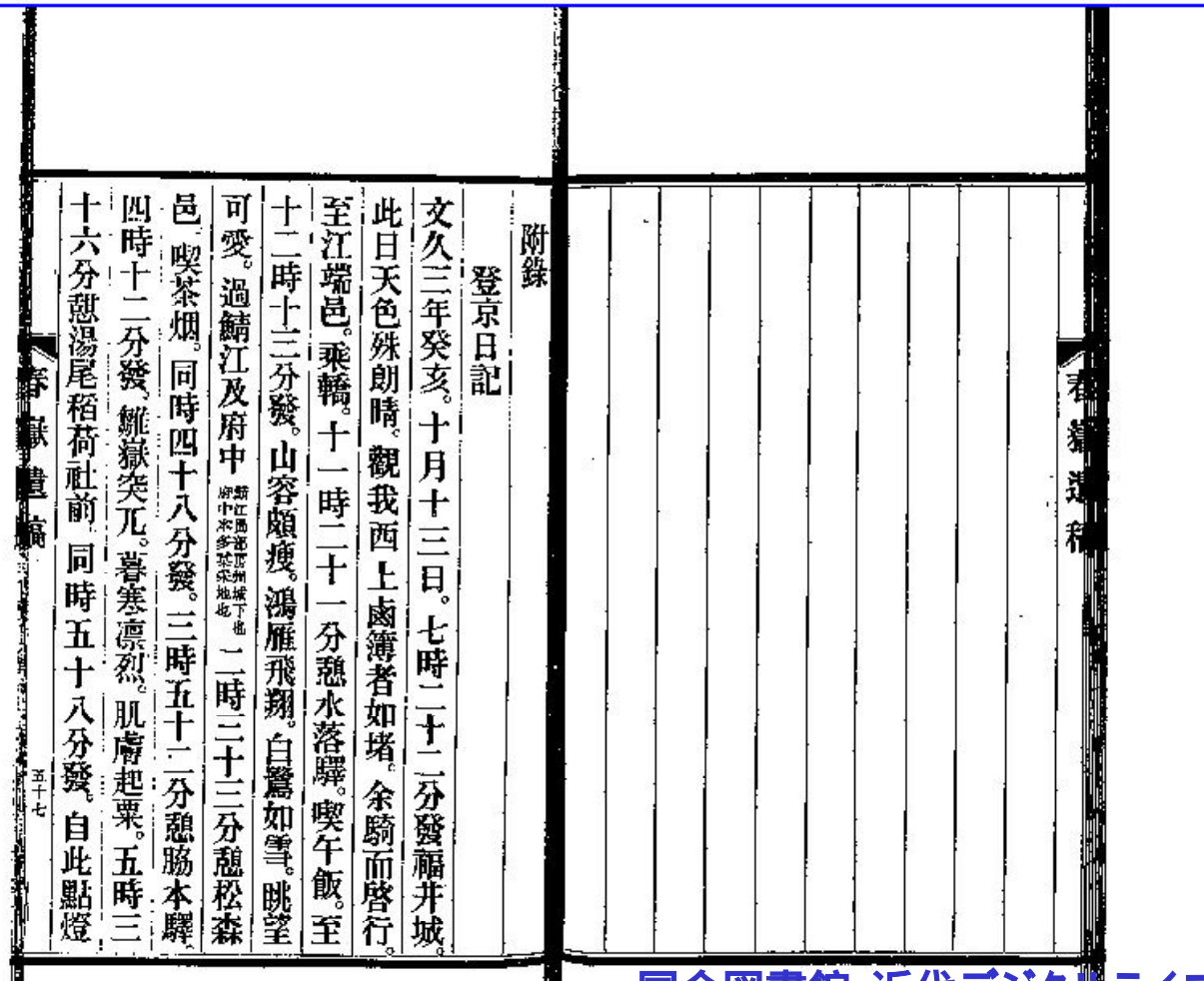
(24) 弥三郎の履歴に関しては、「大野弥三郎履歴」と「当局非現在職員名簿中ノ記事」を参照。これらは『続 幕末和蘭留学
生関係史料集成』（日蘭学会編・大久保利謙編著・雄松堂・昭和五十九年二月刊）に収録されている。
ちなみに大野弥三郎の子孫宅で閲読した資料にもとづいて作成した系図を左に掲げておく。



（追記） 本稿を草する上で、三崎ユキ氏、大野直人氏、元一橋大学教授・山口隆二氏、ライデンの古文書館のB・N・レ
ーベルラント氏、ライデン大学講師ジャック・スホルテン氏、アムステルダム古文書館のH・J・エルンスト氏、日蘭学会
幹事のW・オンドラチック氏、アムステルダム在住の勝山光郎氏らの教示を得ました。記して感謝を表します。

宮永孝著 『幕府オランダ留学生』による

大野弥三郎規周の系図(他に傍系の方も居られる由)



国会図書館・近代デジタルライブラリーから)

福井藩の松平春岳(慶永)は懷中時計の愛用者

上京に際し時刻記入の日記を書いていた。(大野弥三郎規周との関係)